

施策名：グローバル社会を生きるために必要な「総合力」の育成

事業名	担当課・室名	ページ
はつらつ大分人材育成事業	高校教育課	2 / 3
英語教育強化事業	高校教育課	3 / 3

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

事業名	はつらつ大分人材育成事業		事業期間	平成 25 年度～平成 27 年度		政策区分	生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造
						施策区分	グローバル社会を生きるために必要な「総合力」の育成
総合評価	A	終了	事業実施課(室)名	高校教育課		評価者	高校教育課長 姫野 秀樹

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	地域の高校に通う生徒たちには、世界に目を向け高い志を育む機会や生徒相互の切磋琢磨の機会が乏しい。また、将来にわたり活力ある大分県づくりを担う高校生に対して、専門分野に触れることのできる場やリーダーシップ、コミュニケーション能力を育む場が効果的に提供できていない。	事業の目的	高校生を対象に、リーダーとして将来の日本・大分を支えることができる資質の向上及び意識の醸成を図る。
-------	---	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	事業実施年度における効率化の取組状況	コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
①次世代リーダー育成プログラム 県内高校から意欲ある生徒を募集し、リーダー養成に重点を置いたプログラムを実施(4回、413人) ②グローバル人材海外留学支援 海外留学を希望する者を選考の上支援 長期：30万円(10人) 短期：10万円(40人) 留学フェアの実施(1回、118人) ③ふるさとドクター育成セミナー 医師の確保に向けて大分大学地域医療学センターと連携して実施(1回、84人) ④ふるさとサイエンティスト育成 高校生の科学に対する興味関心を高めるため、おおいたサイエンススクエアを開催(1回、135人)	・育成プログラムの講師の選定にあたり、26年度に評価の高かった講師を選定 ・留学支援において、短期と長期の選考を同時に実施	総コスト	17,215	18,388	
		事業費	9,215	10,388	
		(うち一般財源)	3,829	4,826	
		人件費	8,000	8,000	
		職員数(人)	0.80	0.80	

活動指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(27年度)	評価	今後の課題	
								目標値	実績値
活動指標	次世代リーダー(1年)参加延べ人数(人)	目標値	250	300		300	a	・将来の日本・大分でリーダーとなるために必要な素地を育成するため、高校生の資質や意欲のさらなる向上 ・グローバル社会において、自ら世界に挑戦し、多様な価値観を持った人々と協働していく力の育成	
		実績値	276	349		349			
		達成率	110.4%	116.3%		116.3%			
	おおいたサイエンススクエア参加者数(人)	目標値	112	120		120			
		実績値	122	135		135			
		達成率	108.9%	112.5%		112.5%			

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(27年度)	評価	事業の成果	
								目標値	実績値
成果指標	次世代リーダー育成プログラム及びおおいたサイエンススクエアの事後アンケート結果に見る興味関心が高まった生徒の割合(%)	目標値	100.0	100.0		100.0	a	次世代リーダー育成プログラムでは、東京訪問等を実施し、政治経済の最前線に触れ、リーダーに求められる能力の育成が図られた。グローバル人材の育成では、留学フェアを開催し、海外留学へ向けての挑戦意欲を喚起できた。ふるさとドクター育成セミナーでは、地域医療に重点をおいたプログラムを実施し、医療を志す生徒の意欲向上が図られた。	
		実績値	94.8	94.2		94.2			
		達成率	94.8%	94.2%		94.2%			

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・26年度に策定された「大分県グローバル人材育成推進プラン」に基づき、事業内容を再構築した「グローバル人材育成推進事業」及び「おおいたを創るキャリア教育推進事業」を28年度から実施				

事務事業評価調査

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

事業名	英語教育強化事業		事業期間	平成27年度～平成27年度		政策区分	生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造
						施策区分	グローバル社会を生きるために必要な「総合力」の育成
総合評価	A	終了	事業実施課(室)名	高校教育課		評価者	高校教育課長 姫野 秀樹

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	県内の児童生徒は、海外への挑戦意欲のほか留学や海外への進学実績も低い状況である。また、小・中学校での国際交流活動の頻度や継続性等に課題があり、今後はさらにグローバル人材に触れる機会の充実が求められている。	事業の目的	小・中学生の英語学習に対する意欲を高め、併せて中学校英語科の授業改善を行うことで、児童生徒の英語力の向上と世界に挑戦するグローバル人材の育成を図る。
-------	--	-------	--

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	事業実施年度における効率化の取組状況	コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
①イングリッシュ・キャンプ 小学5・6年生(1泊2日)、中学1・2年生(2泊3日)を対象に英語でのコミュニケーション能力向上を図るキャンプを実施し、ALTとの交流や異文化理解のプログラムを実施(2回、100人) ②中学校指導力・英語力向上セミナー 中学校の英語教員を対象に、指導力・英語力を向上させ、授業の充実を図るセミナーを実施(5回、50人) ③小学校英語教育推進研修 小学校教員が自信を持って英語指導ができるように研修を実施(1回、40人)	・イングリッシュ・キャンプの参加者を小・中学校同時に募集	総コスト		4,841	
		事業費		1,841	
		(うち一般財源)		1,841	
		人件費		3,000	
		職員数(人)		0.30	

活動指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(27年度)	評価	今後の課題
	イングリッシュ・キャンプに参加した児童生徒数(人)	目標値			100			
	実績値			99		99		
	達成率			99.0%		99.0%		
小・中学校の英語研修に参加した教員数(人)	目標値			90		90		
	実績値			90		90		
	達成率			100.0%		100.0%		

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(27年度)	評価	事業の成果
	中学校指導力・英語力向上セミナーの事後アンケート結果に見る教員の研修参加の満足度(%)	目標値			100.0			
	実績値			96.2		96.2		
	達成率			96.2%		96.2%		

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・26年度に策定された「大分県グローバル人材育成推進プラン」に基づき、事業内容を再構築した「グローバル人材育成推進事業」を28年度から実施				